

昭和54年度 北海道に発生した森林害虫

北海道森林昆虫談話会

(1980. 4. 16受理)

1. 害虫の発生状況

北海道営林局, 各営林支局, 道林務部, そのほか山林所有者からの同定依頼, 被害報告, ならびに北海道林業試験場, 林業試験場北海道支場の観

察調査をもとにして, 昭和54年度, 北海道に発生した森林害虫の発生状況を第15回, 北海道森林昆虫談話会(昭和55年3月14~15日開催)でとりまとめた(表-1)。

表-1 昭和54年度森林害虫発生概要

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考
スギノハダニ	スギ	上磯町(1358.00), 大野町(356.00) 七飯町(436.00), 戸井町(144.00) 尻岸内町(391.00), 樫法華村(173.00) 函館市(586.00), 松前町(372.00) 福島町(807.00), 知内町(3695.00)	発生面積合計(8318.00ha) 昭和52年度より道南地方で発生が認められている。
トドマツノハダニ	トドマツ	清水署(2,350m ²), 弟子屈署(200m ²) 根室署(3,000m ²), 広尾署(37,850m ²) 中標津署(69,570m ²)	各地の苗畑。
スギマルカイガラムシ	トドマツ, イチイ		各地の庭園樹。
イヌガヤワタカイガラムシ	イチイ	札幌市, 江別市	各地の庭園樹に多く発生している。
ヒメカサアブラ	トドマツ, エゾマツ	弟子屈署	(約50本), 苗畑。
カサアブラの1種	クロマツ	森町(31.50)	
カラマツカサアブラ	カラマツ	新得署(20.00), 清水署(50.00) 帯広署(100.00), 大樹署(50.00) 広尾署(20.00), 陸別署(60.00) 本別署(50.00), 計(350.00)	前年より発生していたものと思われる。
エゾマツカサアブラ	エゾマツ	陸別署(20.00)	その他各地の幼齢造林地に発生している。
キタマツカサアブラ	アカエゾマツ		報告なし。
トドマツオオアブラ	トドマツ	北海道局(4089.55) 函館支局(377.00) 旭川支局(241.59) 帯広支局(926.10) 道有林(2464.00) 民有林(1566.25) 計(9664.49)	防除面積 北海道局(3463.16ha) 函館支局(285.00) 帯広支局(353.00) 道有林(2464.00) 計(6565.16)
エゾマツオオアブラ	アカエゾマツ	北海道局(1735.89) 函館支局(3.00) 旭川支局(90.11) 帯広支局(1774.90) 道有林(1606.00) 民有林(111.65) 計(5321.55)	防除面積 北海道局(1653.92ha) 帯広支局(676.00) 道有林(1606.00) 計(3935.92)
トドマツノタマバエ	トドマツ	白糠署(201.00), 夕張署(1.00)	八雲署管内造林地にも発生している。
スギタマバエ	スギ		道南のスギ造林地で散見。
マツバナタマバエ	クロマツ	桧山署(65.00), 江差町	昭和51年, 砂坂海岸林で発見されてから被害面積は増加し, 周辺のクロマツ林でも寄生が認められている。
エゾマツシントメタマバエ	アカエゾマツ	上川署, 札幌市	
カラマツタネバエ	カラマツ		報告なし。

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考
クリタマバチ	クリ		道南の各地でひき続き発生しているほか美唄市でも発見された。
カシワハナフシ	カシワ	標津署(150.00), 中標津署(100.00) 標茶署(100.00), 根室署(150.00) 計(500.00)	頂芽に虫えいをつくり, それから細長い小葉が多くでる。
シラカバノクロボシハム グリハバチ	シラカバ	札幌市	その他各地で散見。
キイロアシブトハバチ	シラカバ	札幌市	庭園樹, 頂頭部より全葉を食害。
オウトウナメクジハバチ	サクラ, ナナカマド	札幌市, 帯広市, 大樹町	その他各地で発生しているが, 減少している様子。
エゾマツハバチ	アカエゾマツ, トウヒ類	江別市	北海道林木育種場, 採種園ほか造林地。
カラマツキハラハバチ	カラマツ	浦河署(220.41), 大樹署(5.00) 清水署(10.00), 新得署(10.00) 静内町(514.00), 豊頃町(59.04) 大樹町(150.00), 広尾町(330.00) 浦幌町(239.26)	国有林計(245.41ha) 民有林計(1292.30)
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	苫小牧林務署(10.00) 厚真町(128.22), 穂別町(112.70) 早来町(126.28), 苫小牧市(66.00)	民有林計(433.20ha)
ハバチの1種?	ドロノキ, ニレ	弟子屈署(100.00), 阿寒署(150.00) 標茶署(150.00), 中標津署(150.00) 根室署(100.00), 計(650.00)	天然林, 種は不明 全葉を食害
フキバッタ	ハンノキ	札幌市	
エゾマツノメイガ	トドマツ, アカエゾマツ		苗畑。
マツノシンマダラメイガ	ストロブマツ, ヨ ロッパアカマツ	穂別町	樹幹に穿入, 樹脂の流出が多い。
オオクシヒゲシマメイガ	ミズナラ	定山溪署(500.00)	天然林, 全葉を食害する。
マエアカスカシノメイガ	ヤチダモ	足寄署(100.00), 上士幌署(50.00) 阿寒署(50.00), 清水署(60.00) 計(260.00)	前年は十勝, 網走地方を中心に全道的に 大発生したが, 今年はやや減少している。
ドイツウヒマダラメイガ	アカエゾマツ	江別市(1.00), 美唄市	枝に鳥巢状の巣をつくり葉を食害。
マツヒメハマキ	ストロブマツ	苫小牧署	そのほか各地で散点的に発生。
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	大樹署(10.00), 小清水町(80.00) 上富良野町(27.64), 津別町(1.10) 留辺蘂町(49.44), 計(168.18)	
コスジオビハマキ	トドマツ	滝川林務署(79.00), 早来町(2.38)	
タテスジハマキ	トドマツ	置戸署(6.00), 大樹署(15.00)	新植地, 大樹署は採種園。
マツアトキハマキ	トドマツ	札幌市	苗畑の幼齡木。
エゾマツカサガ	アカエゾマツ	津別署(1.80)	球果を加害。
カラマツツツミノガ	カラマツ	壮瞥町(50.00)	
ツガカレハ	トドマツ		報告なし。
オビカレハ	広		報告なし。
マイマイガ	カラマツ	深川市(23.00), 芦別市(5.36) 札幌市(1.28), 風連町(1.44) 計(31.08)	厚真町, 穂別町など比較的個体数が多い。
カシワマイマイ	カシワ		実害はないが, 穂別町などで発生している。
ヤナギドクガ	ドロノキ, ヤナギ	上士幌署(100.00)	
キアシドクガ	ミズキ	浦河署(27349.00)	前年につづいて空知, 石狩, 胆振, 日高 地方に広く発生している。
クワゴマダラヒトリ	広		報告なし。
オオチャバネフユエダシャク	カラマツ トドマツ	当麻町(6.10) 旭川林務署(10.00)	

害虫名	樹種	発生地(面積ha)	備考																																																						
ミスジツマキリエダシャク	カラマツ	清里町 (3.12)																																																							
ナミスジフユナミシャク	ハンノキ		報告なし。																																																						
セグロシャチホコ	ポプラ, ドロノキ	札幌市	各地で散見。																																																						
ブナアオシャチホコ	ブナ	今金署 (193.00), 八雲署 (730.00) 森署 (3419.00), 乙部署 (680.00) 松山署 (6643.00), 計 (11665.00)	全葉を食害, 天然林。																																																						
キマダラコウモリ	スギ	松前林務署 (6.00)	道南地方で散見。																																																						
カラマツミキモグリガ	カラマツ	標茶署																																																							
コスカシバガ	サクラ		庭園樹。																																																						
ヒメコガネ	トドマツ, シラカンバ	夕張署, 札幌市	苗畑。																																																						
オオスジコガネ	キタゴヨウ, トドマツ, カラマツ	森署 (15.00), 東瀬棚署 (12.00) 追分町 (40.00), 羽幌町 (65.00)																																																							
スジコガネ	カラマツ	札幌市																																																							
ハンノキハムシ	ハンノキ	八雲署 (30.00), 乙部署 (2.00) 足寄署 (70.00), 阿寒署 (100.00) 弟子屈署 (150.00), 標茶署 (100.00) 中標津署 (200.00), 根室署 (150.00) 上ノ国町 (6.70), 森町 (76.67) 計 (885.37)	このほか, 全道的に発生しており, ハンノキ類天然木を加害している。																																																						
ドロノキハムシ	ドロノキ	苫小牧署 (6.20)	2年生。																																																						
トドマツキクイ	トドマツ	定山溪署 (1.65), 金山署 (18.24)	金山署112本, 84m ³																																																						
ヤツバキクイ	エゾマツ, アカエゾマツ	鶴川署 (0.40), 金山署 (6.58) 清里署 (0.25), 大雪署, 陸別署, 足寄署, 白糠署	鶴川署 人工林, 53年 金山署 41本, 31m ³ 清里署 アカエゾマツ, 15本 陸別署 60本, 足寄署 50本, 白糠署 150本 その他各地の天然林																																																						
カラマツヤツバキクイ	カラマツ	津別署 (0.19), 清水署 (40.00) 上士幌署 (100.00), 弟子屈署 (50.00) 標茶署 (100.00), 中標津署 (90.00) 根室署 (40.00), 北見林務署 (1.00) 深川市 (17.00), 旭川市 (0.20) 愛別町 (1.50), 陸別町 (0.13) 小清水町 (3.26), 女満別町 (0.38) 美幌町 (8.52), 津別町 (0.55) 端野町 (2.00), 北見市 (1.00) 訓子府町 (15.00), 置戸町 (7.00) 上湧別町 (0.50), 湧別町 (0.40) 計 (478.63)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本数</th> <th>材積</th> </tr> <tr> <th></th> <th>本</th> <th>m³</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津別署</td> <td>91</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>深川市</td> <td>—</td> <td>18.0</td> </tr> <tr> <td>旭川市</td> <td>127</td> <td>18.0</td> </tr> <tr> <td>愛別町</td> <td>1,070</td> <td>180.0</td> </tr> <tr> <td>陸別町</td> <td>120</td> <td>22.5</td> </tr> <tr> <td>小清水町</td> <td>522</td> <td>57.1</td> </tr> <tr> <td>女満別町</td> <td>250</td> <td>32.0</td> </tr> <tr> <td>美幌町</td> <td>2,610</td> <td>463.0</td> </tr> <tr> <td>津別町</td> <td>240</td> <td>109.0</td> </tr> <tr> <td>端野町</td> <td>100</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>北見市</td> <td>60</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>訓子府町</td> <td>150</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>置戸町</td> <td>68</td> <td>28.0</td> </tr> <tr> <td>上湧別町</td> <td>52</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>湧別町</td> <td>30</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,490</td> <td>1020.6</td> </tr> </tbody> </table>		本数	材積		本	m ³	津別署	91	—	深川市	—	18.0	旭川市	127	18.0	愛別町	1,070	180.0	陸別町	120	22.5	小清水町	522	57.1	女満別町	250	32.0	美幌町	2,610	463.0	津別町	240	109.0	端野町	100	30.0	北見市	60	20.0	訓子府町	150	30.0	置戸町	68	28.0	上湧別町	52	8.0	湧別町	30	5.0	計	5,490	1020.6
	本数	材積																																																							
	本	m ³																																																							
津別署	91	—																																																							
深川市	—	18.0																																																							
旭川市	127	18.0																																																							
愛別町	1,070	180.0																																																							
陸別町	120	22.5																																																							
小清水町	522	57.1																																																							
女満別町	250	32.0																																																							
美幌町	2,610	463.0																																																							
津別町	240	109.0																																																							
端野町	100	30.0																																																							
北見市	60	20.0																																																							
訓子府町	150	30.0																																																							
置戸町	68	28.0																																																							
上湧別町	52	8.0																																																							
湧別町	30	5.0																																																							
計	5,490	1020.6																																																							
マツキボシゾウ	ヨーロッパアカマツ	津別署																																																							
シラフヨツボシヒゲナガカミキリ	エゾマツ, トドマツ		各地の天然林																																																						
オオトラカミキリ	トドマツ	今金町																																																							

2. 主な害虫の発生動向

当年は恒常的に発生をつづけているオオアブラムシ類のほか, 造林地ではスギノハダニ, カラマツハラアカハバチ, カラマツイトヒキハマキなどの発生が目立ち, 天然林ではキアシドクガ, ブナアオシャチホコ, ハンノキハムシなど食葉性の害

虫が広域的に大発生している。またカラマツヤツバキクイの被害は前年につづいて道東地方を中心に立木被害が多く発生しており, なお警戒する必要がある。主要害虫の発生動向を要約すると, 次のとおりである。

苗畑では大発生して加害している害虫はいないようであるが, トドマツノハダニ, ヒメカサアブ

ミズナラの全葉を食害する大発生であった。キアシドクガは昭和50年にその発生が認められていて、毎年、石狩、空知、胆振、日高地方の全域でミズキの全葉を食害する発生がつづいている。マイマイガは北見から斜里を結ぶ道東地方での大発生は終熄したようであるが、深川市、芦別市など道央の一部に発生しており、札幌市ではマイマイガの食害木に穿孔虫が寄生して立木枯損のでいてるところもある。このほか厚真町、穂別町など卵塊数の多く観察されているところもあるので、なお場所によって発生は続くものと思われる。ブナアオシャチホコは昭和45年に木古内、江差、桧山地方、46年に黒松内で大発生してしまい、平静をつづけてきたが、当年は今金ほか道南地方のブナ天然林、約10,000ha以上に発生をみた。このほかオオチャバネフユエダシヤクが当麻町に、ミスジツマキリエダシヤクが清里町に発生している。なおミスジツマキリエダシヤクの被害は8月中旬以降の食害割合が大きく、加害されたカラマツは9月中旬から再び展葉をはじめると、新葉の生長途中で冬に入る。このため翌年新葉をだすことができないで枯死することが多い。

食葉性の甲虫ではオオスジコガネ、スジコガネが道南から道北地方にかけて発生している。ハンノキハムシは年々広がりを見せ、54年度にはほぼ全道的に発生している。

このほかの害虫として、カラマツカサアブラが道東に発生しているが、生態的にみて前年より発生していたものが当年に確認されたものと思う。マツバナタマバエは昭和51年に江差町の砂坂海岸林で被害が認められてから被害面積も増加、周辺のクロマツ海岸林でも寄生が認められている。また連年加害をうけた一部地域に枯損が発生、伐倒処理された。エゾマツシントメタマバエは新梢の頂芽や側芽に虫えいをつくり、新芽の伸長を阻害する。虫えいが小さいために被害が見逃されることが多いのであるが、上川署のアカエゾマツ採種園や札幌市などで発生が観察されている。

穿孔性の害虫では、カラマツの除間伐の対象となる林地が多いこともあって、前年につづき道東地方を中心にカラマツヤツバキクイによる立木被害が発生している。本種は一次加害性の強い種であるから、繁殖の温床となるような、例えば大径除間伐木を長く林地に放置することなどは極力さ

けるべきである。そのほかエゾマツ、トドマツ天然林ではヤツバキクイ、トドマツキクイなどが加害しており、津別署ではヨーロッパアカマツにマツキボシゾウが、今金町ではトドマツ造林地にオオトラカミキリの被害が観察されている。

(林試北海道支場 小泉 力 記)

文 献

- 1) 福山研二・小泉 力：最近、北海道における森林害虫の発生動向，林業試験場北海道支場年報，1978，83～84，(1979)。
- 2) 古田公人・高井正利：トドマツオオアブラ，エゾマツオオアブラへの薬剤散布，野ねずみ，156，41～43，(1980)。
- 3) 東浦康友・上条一昭：カラマツハラアカハバチの羽化時期，昭和53年度林業技術研究発表大会論文集，65，(1979)。
- 4) 一色周知・六浦 晃：針葉樹を加害する小蛾類のリスト，大阪府大農学部昆虫学教室出版7号，1～8，(1962)。
- 5) 上条一昭：カラマツハラアカハバチの生態と防除，北海道林業試験場，光珠内季報，36，20～21，(1978)。
- 6) 上条一昭：カラマツを加害するハバチ類，野ねずみ，154，28～30，(1979)。
- 7) 小泉 力：昭和53年度，北海道に発生した森林害虫，北方林業，31(6)，20～24，(1979)。
- 8) 島影芳治・伊藤正敏：白糠署管内に発生したトドマツノタマバエの被害(第1報)，帯広営林支局，昭和53年度業務研究発表集，172～174，(1979)。
- 9) 篠原 均・鈴木重孝：カラマツハラアカハバチのくん煙剤による防除試験，北方林業，32(4)，98～99，(1980)。
- 10) 鈴木重孝：ミスジツマキリエダシヤクによるカラマツの被害，昭和52年度林業技術研究発表大会論文集，81，(1978)。
- 11) 鈴木重孝：混交林と単純林とではハマキガとその天敵がどう違うか，北海道林業試験場，光珠内季報，39，18～22，(1979)。
- 12) 鈴木重孝・上条一昭：道有林におけるハマキガ類の発生状況，北海道林業試験場，光珠内季報，43，16～17，(1980)。
- 13) 高井正利・古田公人：トドマツオオアブラの総合防除，林業試験場北海道支場，新技術情報，3，1～4，(1979)。
- 14) 高井正利・古田公人：トドマツオオアブラの発生調査法，北方林業，31(10)，10～13，(1979)。